

# 平成24年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年12月18日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,407億円余
2. 前年同月比	3.1% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭3.0%(88.5%) : 非店頭4.4%(11.5%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	920,585㎡ (前年同月比:0.5%)
6. 総従業員数	19,071人 (前年同月比:-0.3%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 2.8%、5-7月 0.2%、6-8月 -0.4%、 7-9月 -0.2%、8-10月 -0.3%、9-11月 0.9%

[参考] 平成23年11月の売上高増減率は-3.0% (店舗数調整後)

### 【11月売上の特徴】

- (1) 東京地区も気温低下の影響で冬物衣料(+5.4%)が活発に動いた。具体的にはコート、ジャケット、ブルゾン、スーツなどのほか、セーター、ストール、マフラー、手袋等の洋品類も大きく伸びた。
- (2) 身のまわり品は、今年3月の震災反動増(+39.6%)を除けば63か月ぶりの二桁増と極めて好調に推移した。特にブーツや婦人アクセサリは各店軒並み売上を伸ばしたほか、改装店ではハンドバッグにも勢いがあり、ほぼ全アイテムで前年実績を上回った。
- (3) 11月の歳暮商戦は前年を若干上回る水準で推移した。ネット受注や自家需要商材が引き続き伸びを見せた。
- (4) 最近好調な化粧品(+6.0%)は、冬の乾燥肌対策として保湿用途のスキンケア商材を中心に需要が高まった。また、クリスマス限定キットなども話題を集めた。
- (5) 東京地区の12月中旬までの商況はほぼ前年並みで推移している。衆議院選・都知事選の影響は、投票日当日に若干の入店客数減が見られた程度に留まった。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した:5店、②変化なし:8店、③減少した:6店
- (3) 11月歳時記(文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮)の売上(同上/有効回答数15店舗)  
①増加した:2店、②変化なし:9店、③減少した:4店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)  
①増加する:2店、②変化なし:13店、③減少する:4店、④不明:1店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2012年11月

※店舗数調整後 ( )が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
<b>総 額</b>	<b>140,799,835</b>	<b>100.0</b>	<b>3.1 ( 2.5)</b>
紳士服・洋品	12,854,247	9.1	6.6
婦人服・洋品	28,064,962	19.9	5.2 ( 4.7)
子供服・洋品	2,316,834	1.6	8.4
その他衣料品	2,839,286	2.0	0.5
<b>衣 料 品</b>	<b>46,075,329</b>	<b>32.7</b>	<b>5.4 ( 5.1)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>16,907,060</b>	<b>12.0</b>	<b>10.8 ( 7.5)</b>
化粧品	7,576,334	5.4	6.0
美術・宝飾・貴金属	6,892,567	4.9	3.3
その他雑貨	6,357,831	4.5	-9.7
<b>雑 貨</b>	<b>20,826,732</b>	<b>14.8</b>	<b>-0.1</b>
家 具	1,863,266	1.3	-1.6
家 電	799,583	0.6	-62.4
その他家庭用品	4,870,694	3.5	-6.6 ( -7.5)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>7,533,543</b>	<b>5.4</b>	<b>-18.4 ( -18.8)</b>
生 鮮 食 品	6,713,763	4.8	4.5
菓 子	10,210,540	7.3	7.0
惣 菜	8,507,312	6.0	6.1
その他食料品	14,770,080	10.5	2.9 ( 2.3)
<b>食 料 品</b>	<b>40,201,695</b>	<b>28.6</b>	<b>4.9 ( 4.7)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>3,137,999</b>	<b>2.2</b>	<b>2.6 ( 1.5)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>2,450,427</b>	<b>1.7</b>	<b>4.4</b>
<b>そ の 他</b>	<b>3,667,050</b>	<b>2.6</b>	<b>-1.7 ( -3.9)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	5,122,240 千円	-10.7 ( -10.9)
従 業 員 数	19,071 人	-0.3
店 舗 面 積	920,585 m <sup>2</sup>	0.5

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、衣料品が3か月ぶり、身のまわり品が2か月ぶり、食料品が4か月連続のプラス。雑貨が2か月連続、家庭用品が3か月ぶりのマイナスとなった。化粧品、生鮮食品が4か月連続、菓子が10か月連続、惣菜が16か月連続、その他食料品が2か月連続のプラス、紳士服・洋品、子供服・洋品、その他衣料品、美術・宝飾・貴金属が2か月ぶり、婦人服・洋品が3か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>3.1</b>	<b>—</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	6.6	0.6	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	5.2	1.0	3か月ぶりプラス
子供服・洋品	8.4	0.1	2か月ぶりプラス
その他衣料品	0.5	0.0	2か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>5.4</b>	<b>1.7</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>10.8</b>	<b>1.2</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
化粧品	6.0	0.3	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.3	0.2	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-9.7	-0.5	7か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>-0.1</b>	<b>0.0</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
家具	-1.6	0.0	2か月連続マイナス
家電	-62.4	-1.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-6.6	-0.3	7か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-18.4</b>	<b>-1.2</b>	<b>3か月ぶりマイナス</b>
生鮮食品	4.5	0.2	4か月連続プラス*
菓子	7.0	0.5	10か月連続プラス*
惣菜	6.1	0.4	16か月連続プラス*
その他食料品	2.9	0.3	2か月連続プラス*
<b>食料品</b>	<b>4.9</b>	<b>1.4</b>	<b>4か月連続プラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>2.6</b>	<b>0.1</b>	<b>6か月ぶりプラス</b>
<b>サービス</b>	<b>4.4</b>	<b>0.1</b>	<b>6か月連続プラス</b>
<b>その他</b>	<b>-1.7</b>	<b>0.0</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
商品券	-10.7	-0.4	19か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>